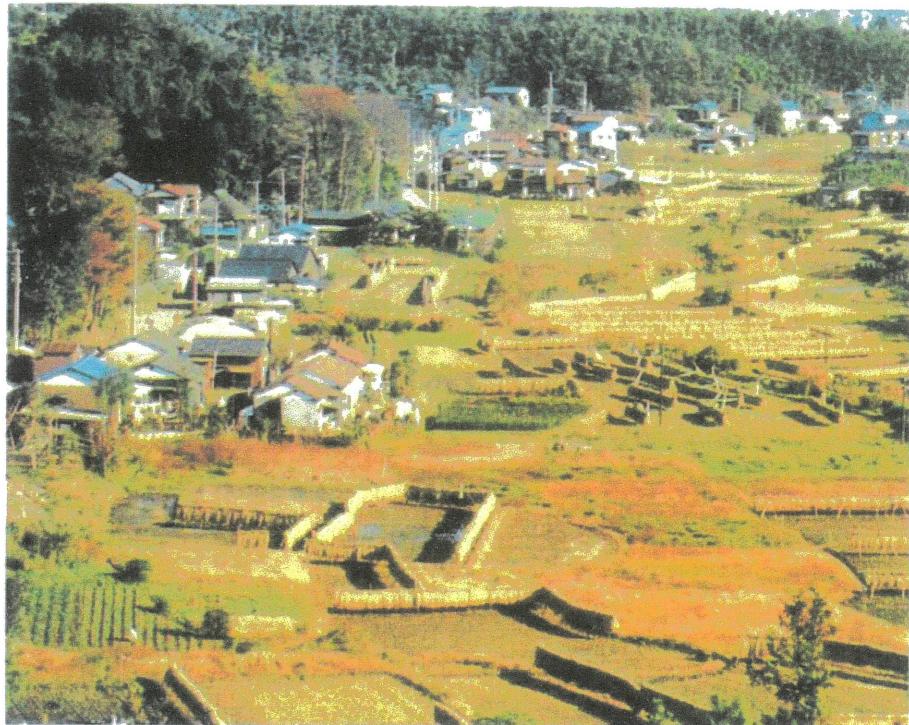


港北ニュータウンのおいたち

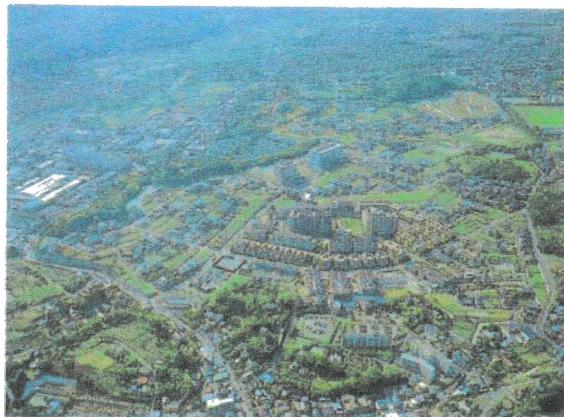
昭和30年代後半から昭和40年代にかけての急速な高度経済成長の波は、私たちに多大な利益と生活水準の向上をもたらした一方、日本各地では無秩序な乱開発による自然破壊という事態も招きました。当時この自然破壊の波は、現在の港北ニュータウン周辺にまでおよび、乱開発の手が急速に迫りつつありました。

そこで横浜市は、豊かな自然に満ちたこの地域の乱開発を未然に防ぐため、計画的に人口を誘導し、都市と農業が調和した新しい街づくりに取り組むことになったのです。これが港北ニュータウン誕生のいきさつです。

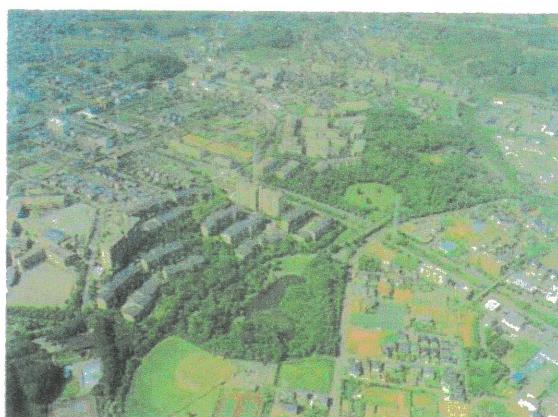


●港北ニュータウン航空写真

昭和40年頃の港北



平成7年5月



平成7年5月

港北ニュータウンまちづくり年表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1965年 (昭和40年)		●										
			横浜市が6大事業を発表	①都心部強化事業 ②金沢地区先埋立事業 ③港北ニュータウン建設事業 ④高速鉄道建設事業 ⑤高速道路網建設事業 ⑥横浜港ベイブリッジ建設事業								
66年 (昭和41年)							●					●
								市が港北ニュータウン計画を地元に説明			公園が港北ニュータウン開発に同意	
67年 (昭和42年)						●						
								港北ニュータウン開発対策協議会発足				
68年 (昭和43年)			●									
				市に港北ニュータウン建設部発足								
69年 (昭和44年)					●							
						建設大臣、公園へ土地区画整理事業の特許						